

高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事

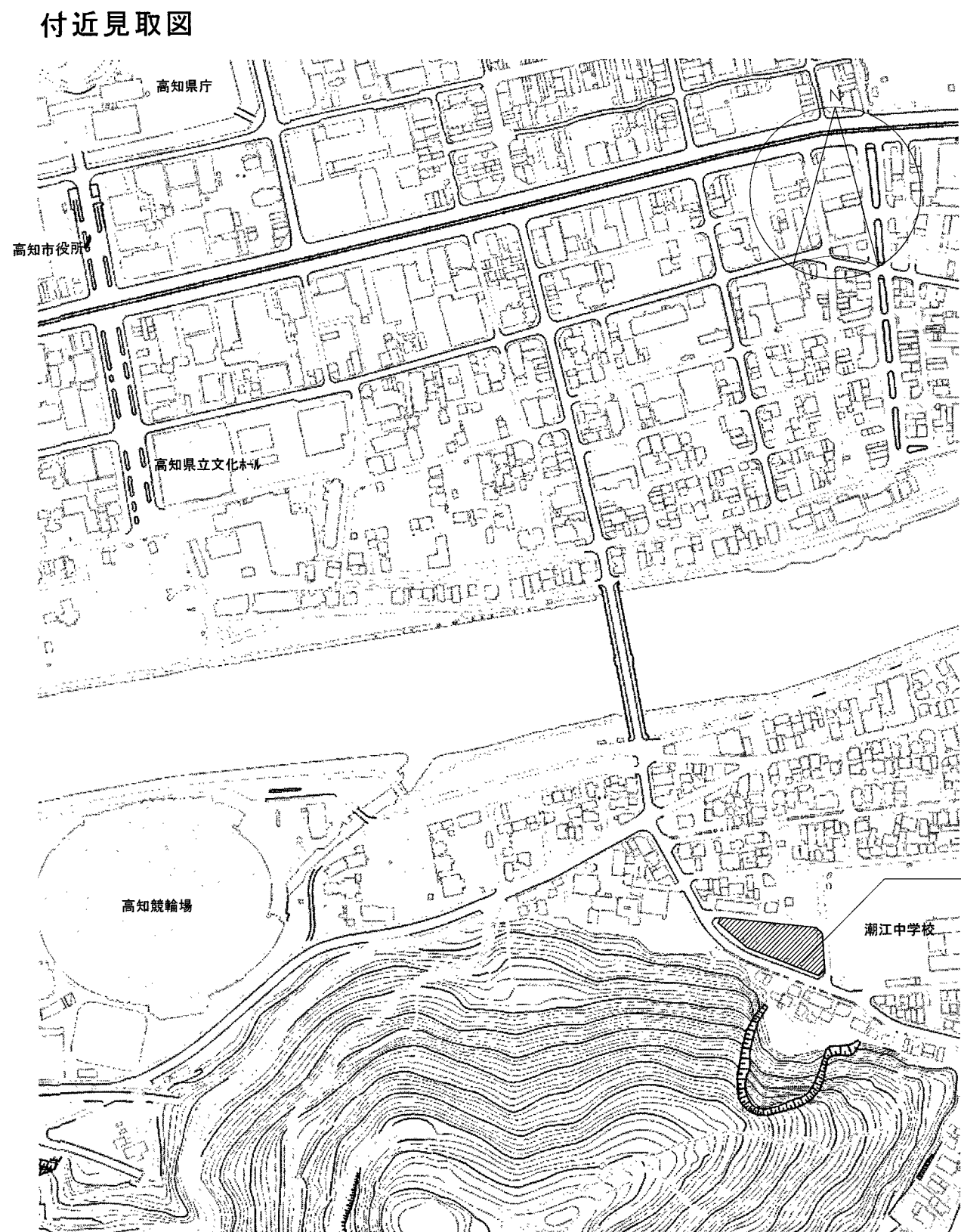
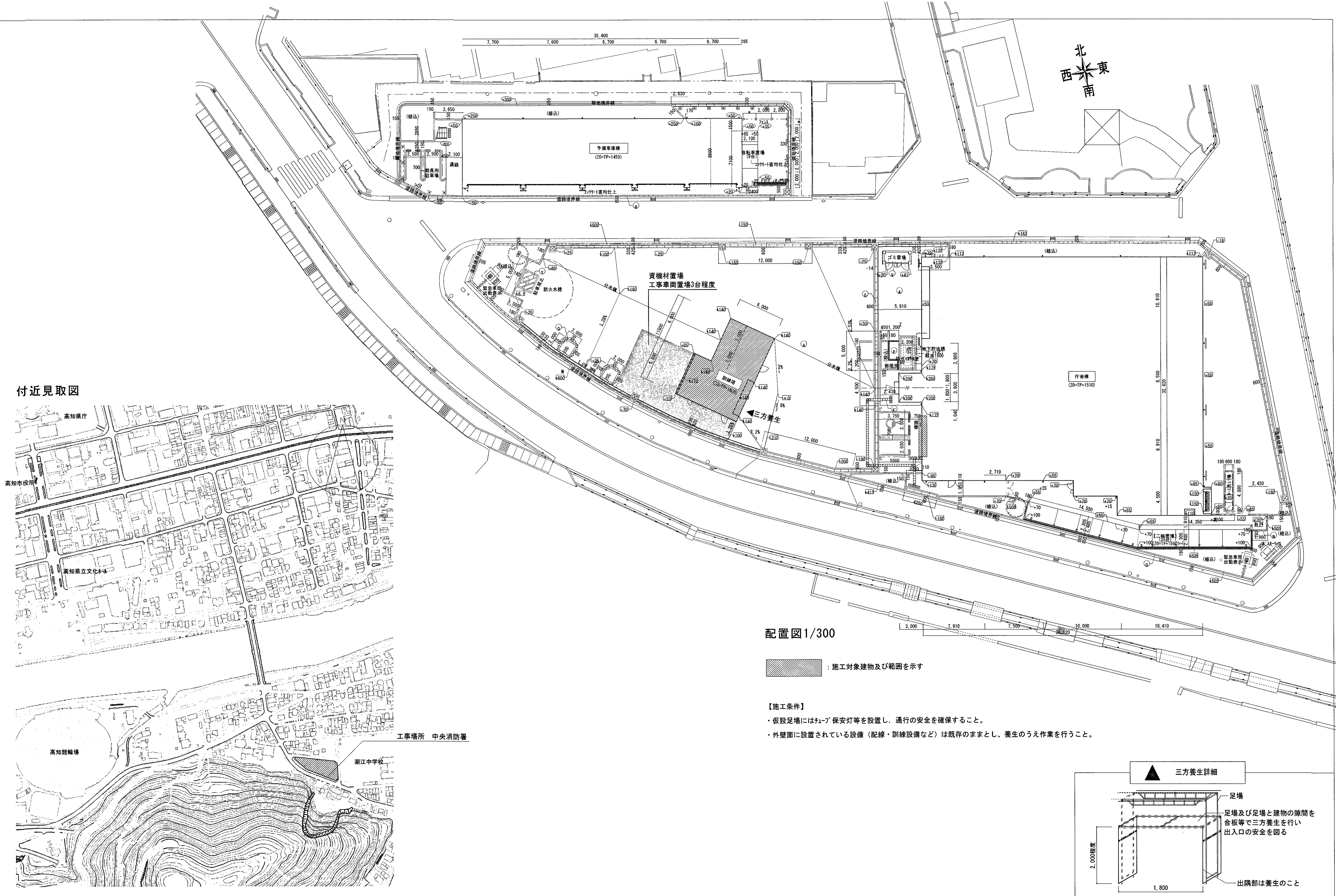
図 面 リ ス ト									
意 匠 図									
A-01	改修特記仕様書（１）	A-11	庁舎棟 西立面図						
A-02	改修特記仕様書（２）	A-12	訓練塔 １階～５階 建具配置図【参考図】						
A-03	改修特記仕様書（３）	A-13	訓練塔 ７階～10階 建具配置図【参考図】						
A-04	改修特記仕様書（４）	A-14	訓練塔 建具リスト1【参考図】						
A-05	付近見取図・配置図・仮設計画図	A-15	訓練塔 建具リスト2【参考図】						
A-06	訓練塔 南面・西面立面図								
A-07	訓練塔 北面・東面立面図								
A-08	訓練塔 断面図【参考図】								
A-09	訓練塔 地階～５階 天井伏図								
A-10	訓練塔 ６～10階 天井伏図								

高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事		特記仕様書	
I 工 事 概 要			
1. 工事場所	高知市筆山町3番4号、4番5号		
2. 工事種目	【訓練塔】 RC造 地下1階 地上10階建て 延べ面積394.94㎡ 1) 外壁改修 一式		
	【庁舎棟】 RC造 4階建て 延べ面積2,712.15㎡ 1) 外壁改修 一式		
3. 関連工事等	・電気設備工事・機械設備工事・ガス設備工事・昇降機設備工事・植栽工事 ・合併処理装置設置工事・外構工事		
4. 概成工期	完成期限の()日前 (令和 年 月 日) 総合試運転調整 ・実施する ・実施しない	[1.7.7]	
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)	令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。		
II 建 築 工 事 仕 様			
1. 特記仕様	1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の[]内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の< >内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		
2. 適用基準等	図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁営繕部監修の以下による ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和7年版) ※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和7年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)		
3. 「週休2日制工事」の実施について	※対象 (○選択－Ⅰ型 ・選択－Ⅱ型) 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする。 「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領(営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:)		
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について	※対象 ○見込んでいない (理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため ・) ・見込んでいる (作業不能日数: ※現場説明書による ・) ・対象外(理由:)		
5. 「中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更」について	※適用する(現場説明書による) ・適用しない		
項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項
一般共通事項			
① 工事実績情報システム(コリンズ)への登録(請負金額500万円以上)(受注, 変更, 完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズテクリス登録システム利用規約」による。	[1.1.4]	
② 情報共有システム	・適用する ※適用しない 機能要件 (・ 現場説明書による ・)	[1.1.5]	
③ 遠隔臨場の実施	・適用する ※適用しない 実施内容 (・ 現場説明書による ・)	[1.1.14]	
4 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。		
5 総合図	工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。	[1.2.3]	
⑥ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。	[1.2.4]	
⑦ 工事写真	工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) 撮影方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。	[1.2.4]	
⑧ 下請負者の報告	各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。		
9 電気保安技術者	適用する。	[1.3.3]	
⑩ 施工条件	施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 ・ 施工順序 ・ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示	[1.3.5]	

[illegible]

項 目		特 記 事 項	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																																																	
	6	ルーフィングトシートの種類 ※表3.5.1～表3.5.3までによる 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない POS工法及びPOS工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びS-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] 歩行の仕様 [表3.5.1] ※非歩行用 ・軽歩行用 (施工箇所:) SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法	外壁改修工事(共通事項) ① 材料品質	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table> <tr> <th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr> <td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上</td><td>標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上</td><td>最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上</td></tr> </table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 バテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table> <tr> <th>初期硬化性(MPa)</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th><th>硬化収縮率(%)</th></tr> <tr> <td>標準2.0以上</td><td>標準6.0以上</td><td>50.0以上</td><td>30.0以上</td><td>3.0以下</td></tr> </table> 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 <table> <tr> <th>だれ</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th></tr> <tr> <td>形状に異常がなく、だれが生じないこと</td><td>1.0以上</td><td>20.0以上</td><td>10.0以上(3日後の値)</td></tr> </table> 1)こ塗りやすい、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] <table> <tr> <th>下がり量</th><th>表面状態</th><th>曲げ強さ(N/mm2)</th><th>圧縮強さ(N/mm2)</th><th>接着強さ(N/mm2)</th><th>特殊条件</th></tr> <tr> <td>5mm以内</td><td>ひびわれの発生がないこと</td><td>6.0以上</td><td>20.0以上</td><td>標準条件 1.0以上 湿潤時 0.8以上 低温時 0.5以上</td><td></td></tr> </table> 1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] <table> <tr> <th>拡がり速さ(cm/s)</th><th>長さ変化率(収縮)(%)</th><th>引張接着性(材齢28日)(N/mm2)</th><th>曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)</th><th>吸水率(72時間)(%)</th><th>劣化曲げ強さ(N/mm2)</th></tr> <tr> <td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.49以上</td><td>4.9以上</td><td>15以下</td><td>4.9以上</td></tr> </table> 1)保水係数 0.35～0.55 2)粘調係数 0.50～1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 既調合モルタル [4.3.10] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 <table> <tr> <th>保水率(%)</th><th>単位容積質量(kg/L)</th><th>接着強さ</th><th>長さ変化率(%)</th><th>曲げ強さ(N/mm2)</th></tr> <tr> <td>70.0以上</td><td>1.8以上</td><td>標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上</td><td>0.2以下</td><td>4.0以上</td></tr> </table>	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)	下がり量	表面状態	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	特殊条件	5mm以内	ひびわれの発生がないこと	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 湿潤時 0.8以上 低温時 0.5以上		拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)	3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上	保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)	70.0以上	1.8以上	標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上	外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																	
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上 低温 1.0以上 加熱劣化1.0以上	標準 30.0以上 低温 30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張強さ1.0MPa以上 破断時の伸び10.0%以上																																																																	
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																			
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																			
だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)																																																																				
形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)																																																																				
下がり量	表面状態	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	特殊条件																																																																		
5mm以内	ひびわれの発生がないこと	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 湿潤時 0.8以上 低温時 0.5以上																																																																			
拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)																																																																		
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																																		
保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)																																																																			
70.0以上	1.8以上	標準養生 0.6N/mm2以上 温冷繰返し後 0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上																																																																			
防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1～表3.6.3] <table> <tr> <th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料の種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>・POX</td><td>・X-1 ・X-1H</td><td></td><td>※2成分形アクリル樹脂系</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td></tr> <tr> <td>・L4X</td><td>・X-2 ・X-2H</td><td></td><td>・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・P1Y ・P2Y</td><td>※Y-2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による ・ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの P1Y工法又はP2Y工法の保護層の仕様 ※図示	工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備 考	・POX	・X-1 ・X-1H		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない	・L4X	・X-2 ・X-2H		・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系				・P1Y ・P2Y	※Y-2						外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ																																										
工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備 考																																																																	
・POX	・X-1 ・X-1H		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																	
・L4X	・X-2 ・X-2H		・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系																																																																				
・P1Y ・P2Y	※Y-2																																																																						
ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ 表面の仕上げ ・平滑 ・粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示																																																																							
7	FRP防水	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・エッジング材張り ・適用する [3.7.7]	シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table> <tr> <th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr> <td>・SR-1</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr> <tr> <td>・SR-2</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>すべて</td></tr> <tr> <td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr> <tr> <td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1]	種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	・SR-1	シリコーン系		・SR-2			○MS-2	変成シリコーン系	すべて	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		・			シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table> <tr> <th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr> <td>幅(mm)</td><td>※ 20以上</td><td>※幅及び深さ5以上</td><td>※ 10以上</td></tr> <tr> <td>深さ(mm)</td><td>※ 10以上</td><td>[5.13.3]による場合を除く</td><td>※ 10以上</td></tr> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験	箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※ 20以上	※幅及び深さ5以上	※ 10以上	深さ(mm)	※ 10以上	[5.13.3]による場合を除く	※ 10以上	⑧ シーリング																																	
種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																																																					
・SR-1	シリコーン系																																																																						
・SR-2																																																																							
○MS-2	変成シリコーン系	すべて																																																																					
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																						
・PU-2	ポリウレタン系																																																																						
・																																																																							
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																				
幅(mm)	※ 20以上	※幅及び深さ5以上	※ 10以上																																																																				
深さ(mm)	※ 10以上	[5.13.3]による場合を除く	※ 10以上																																																																				
シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4～3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・エッジング材張り ・適用する [3.7.7]																																																																							
シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table> <tr> <th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr> <td>・SR-1</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr> <tr> <td>・SR-2</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>○MS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>すべて</td></tr> <tr> <td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr> <tr> <td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1]	種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所	・SR-1	シリコーン系		・SR-2			○MS-2	変成シリコーン系	すべて	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系		・																																																				
種類(記号)	主成分による区分	施 工 箇 所																																																																					
・SR-1	シリコーン系																																																																						
・SR-2																																																																							
○MS-2	変成シリコーン系	すべて																																																																					
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																						
・PU-2	ポリウレタン系																																																																						
・																																																																							
9	とい	材料 [3.8.2][表3.8.1] <table> <tr> <th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr> <td></td></tr></table>	材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																		
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																					

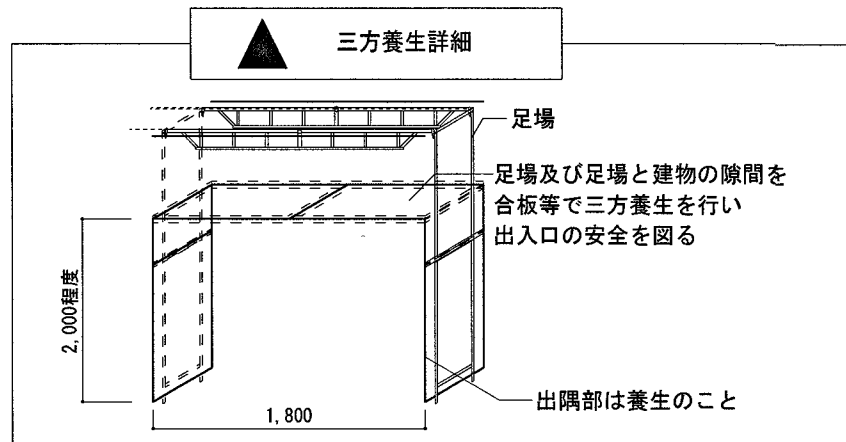
[illegible]



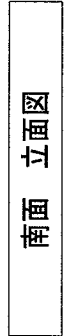
配置図 1/300

 : 施工対象建物及び範囲を示す

- 【施工条件】
- ・仮設足場には「フープ」保安灯等を設置し、通行の安全を確保すること。
 - ・外壁面に設置されている設備（配線・訓練設備など）は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。



高知市 都市建設部 公共建築課				工 事 名		係		係 長	課長補佐	課 長	図面番号
				高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事							A-05
				図 面 名	付近見取図・配置図・仮設計画図	縮 尺	1 / 300		作 図	R8年 7月 日	



記号	材 名	記号	材 名	記号	材 名
A	合板型枠入型打直し 逆水材吹付	H	St 逆板型枠入型手取 (手廻り組) H=1m 原素作足場	O	合板型枠口廻り打直し (逆板型枠) 逆水材吹付 4.5坪配
B	叫機カラー-VF55φ SUS壁金物	I	St 逆板型枠入型手取 H=0.8m 階段内周	P	ローブ備付防止金物 SUS PL=100×70×5 曲付加工 打込み
C	縦機カラー-VF75φ SUS壁金物	J	St 逆板型枠入型手取 O=7.6 3φ×5.2 H=0.15m	Q	
D	AL2段手摺 H=0.3m 鉄製品	K	鋼筋組込型枠金物	R	
E	AL棒出し現手摺 H=1.1m 鋼板設板子10t	L	St 逆板型枠入型手取ローアングル一棒手摺 H=1.1m	S	
F	St 逆板型枠設板子手摺 H=0.5m Z2・Z型取	M	鋼板止スリール FRPガラスサンタ40×40×40	T	
G	St 逆板型枠設板子手摺 H=1m 階段内周 (留保)	N	下地St 逆板型枠設板子手摺	U	

- ・ A1 サッポンの電子部材は全て A1 ハバ 2 を使用する。電子部材は用いない。
- ・ 側面に使用する全ての A1 サッポンの内側には、被覆シートとして別に専用のサッポンを貼ける。

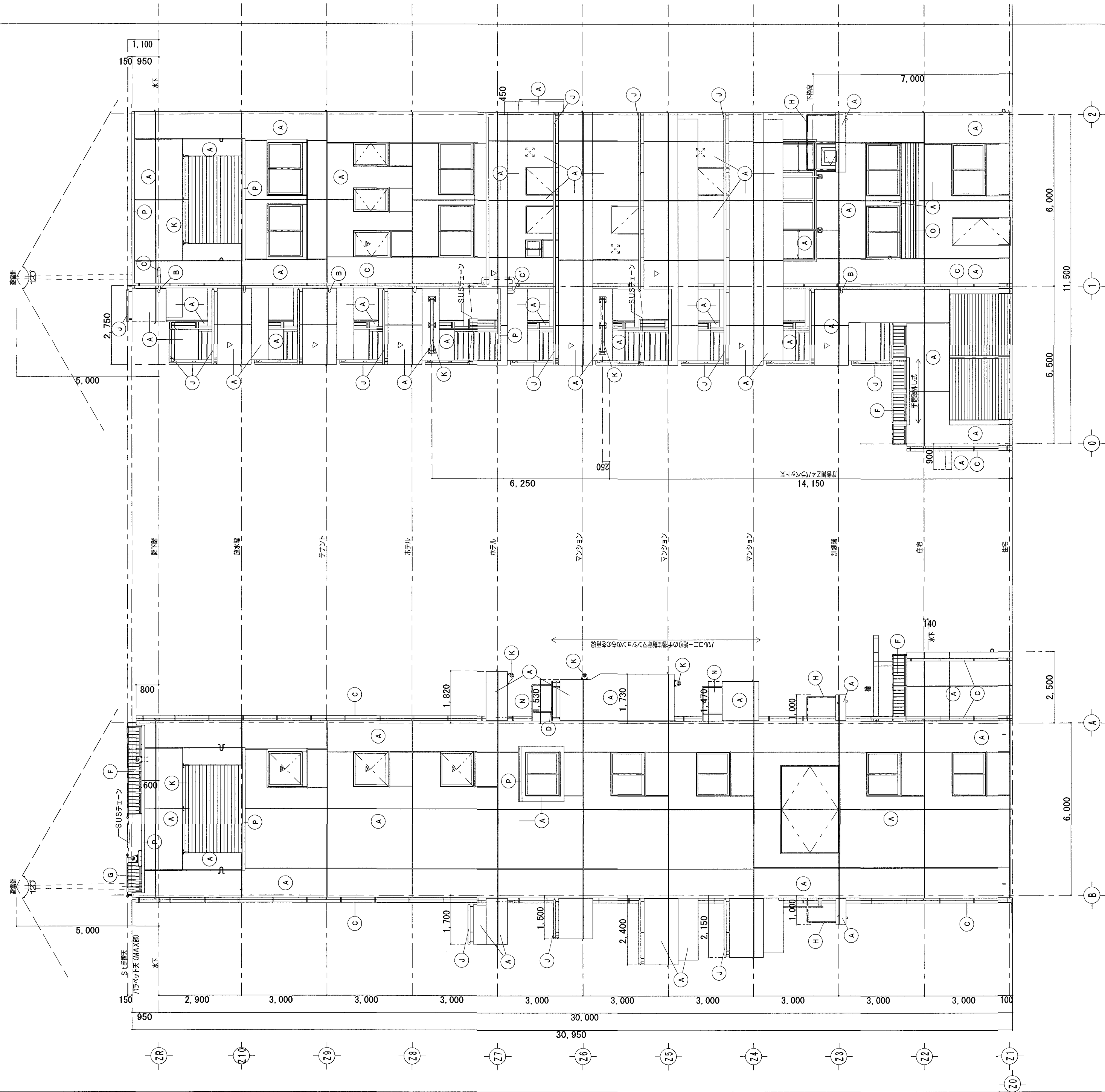
▽ 注 法の標準用入ローク (20 cm 型の黄色) で、R へ A1 3 (型別の黄色) の外枠用サッポン貼りを行います。

△ 注 法の標準用入ローク (20 cm 型の黄色) で、建築 (A1 ハバ) 面へ被覆反シシート貼りを行います。

・ 各工法を参照。

外壁改修【コケリ打放し仕上げ】	自動式低圧ボヤ剤注入工法	m	1.00	合計
ひび割れ (0.2以上～1.0mm未満)	リフティング材充填工法	m		
ひび割れ (1.0mm以上)	充填工法 (ボヤ剤注入法)	m		
欠損	既存のり剥離撤去、既製穴埋め新設	m	1.104	防錆処理共
型枠締付金物・処理部				

※【改修内容】 以外は既存のままとする。

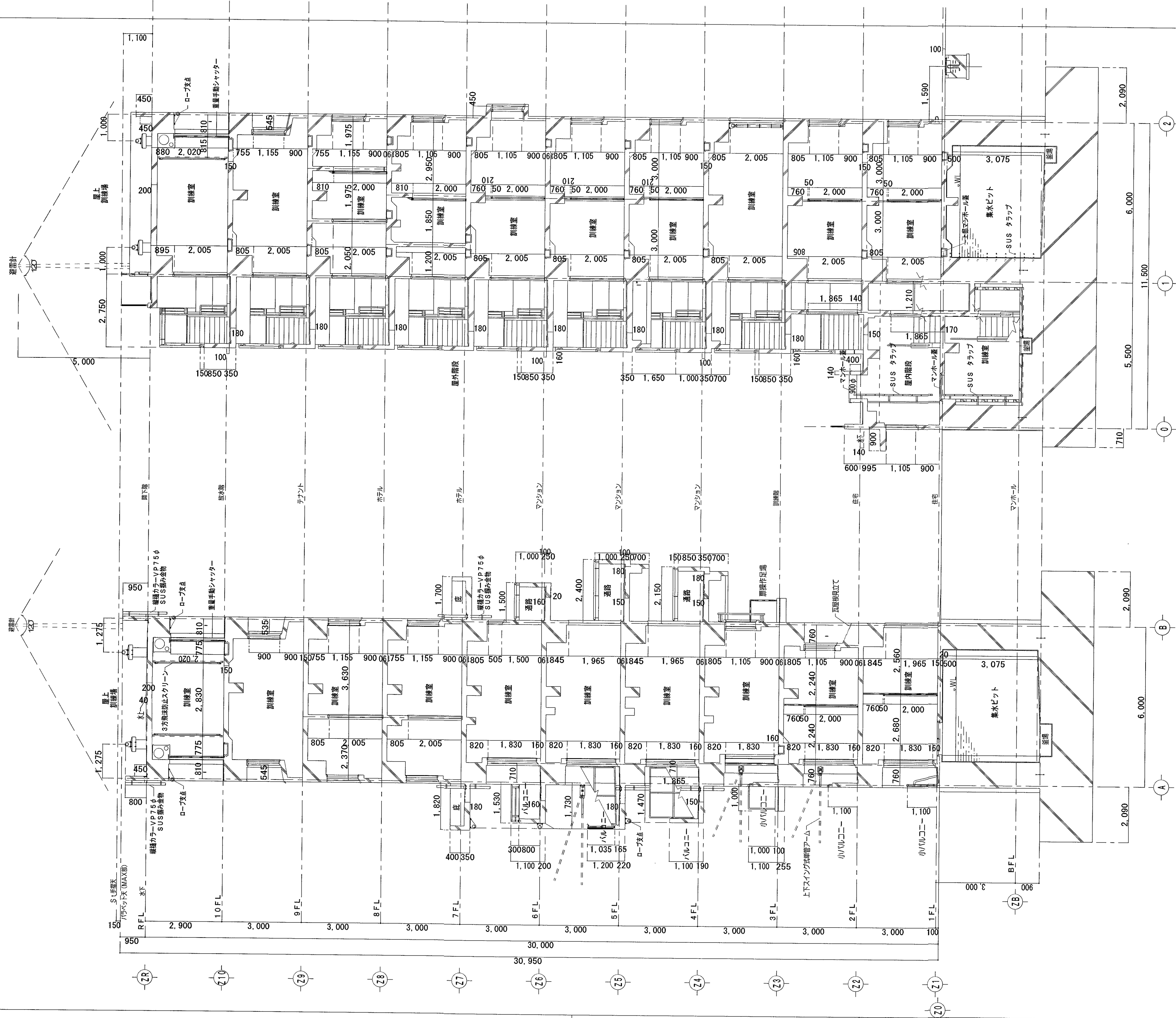


【 改修内容 】
数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2 (15×10) 二重水切り部共、撤去・新設とする。
目地シーリング MS-2 打継 (20×10)、化粧 (15×15) 撤去・新設とする。

※【改修内容】 以外は既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事		和田	和田	和田	和田	A-07
図面名	訓練塔 北面・東面立面図	縮尺	1/100	作図	R8年 7月 日	

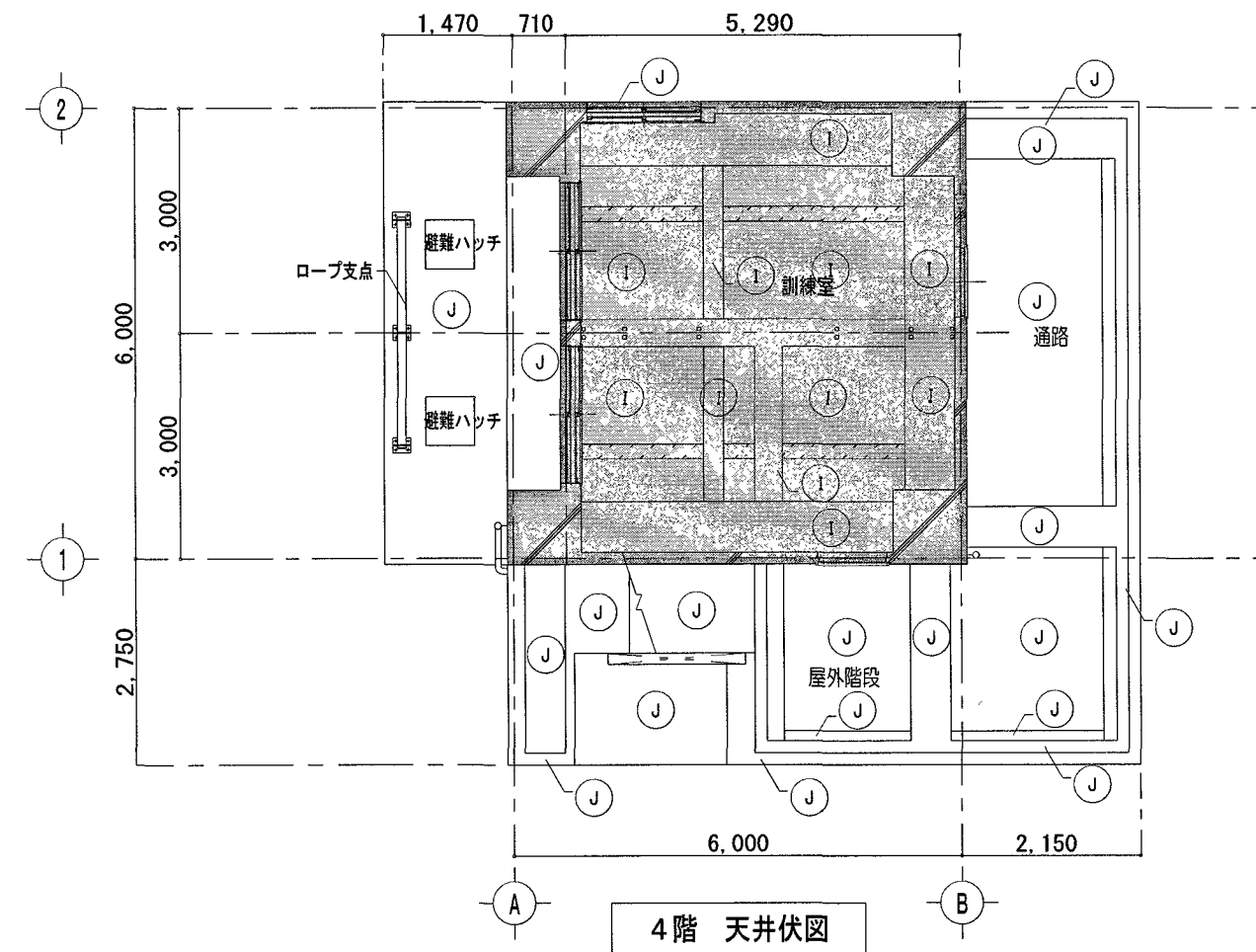
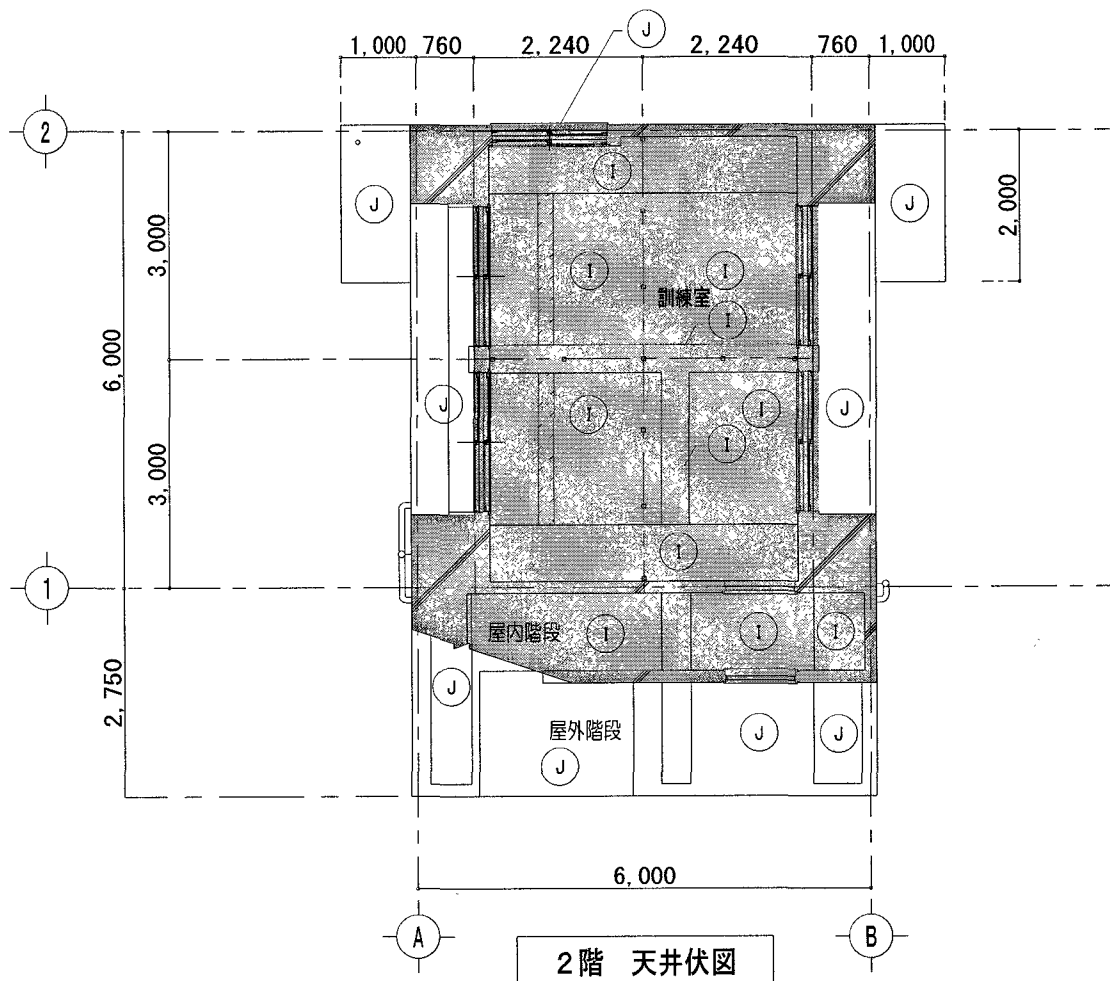
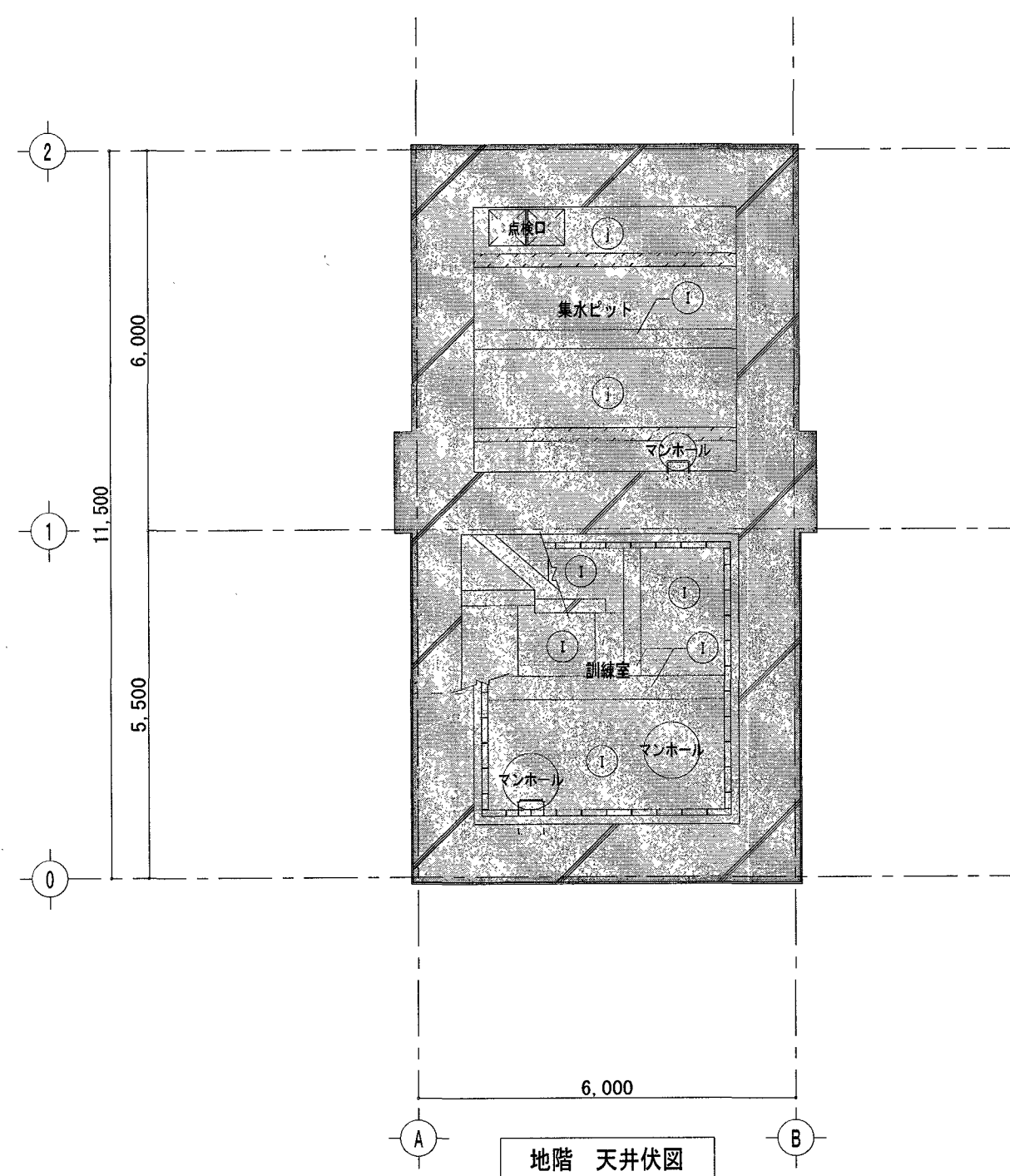
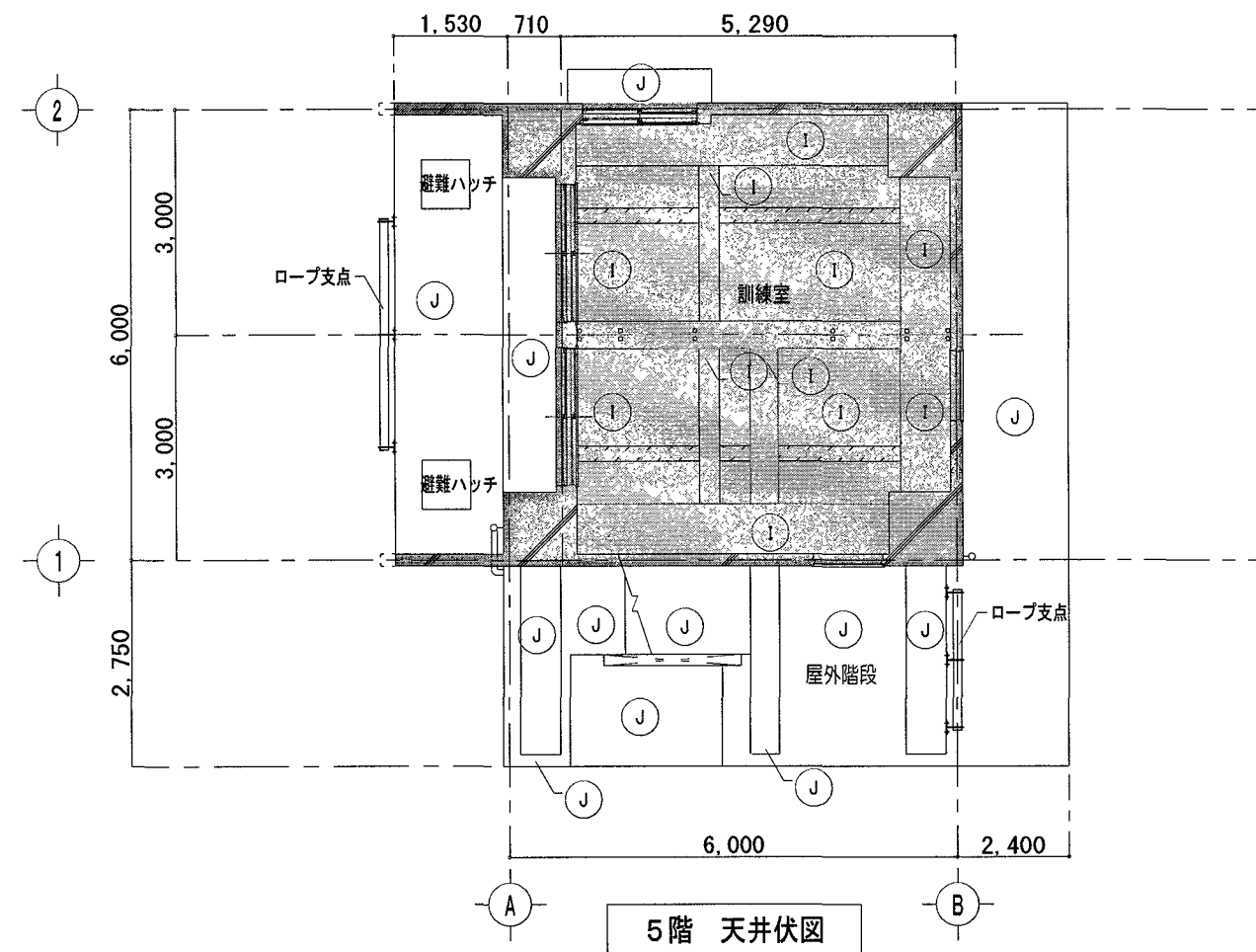
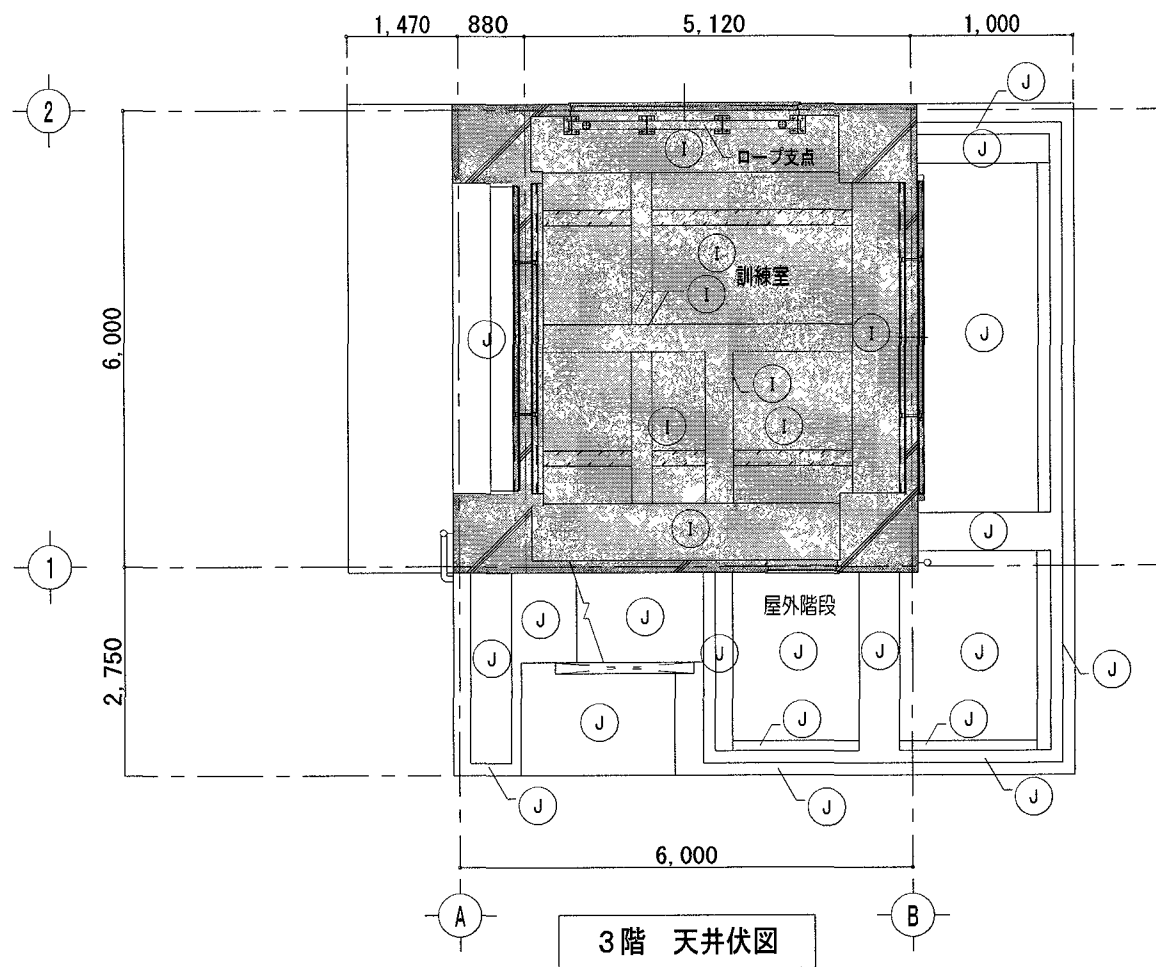
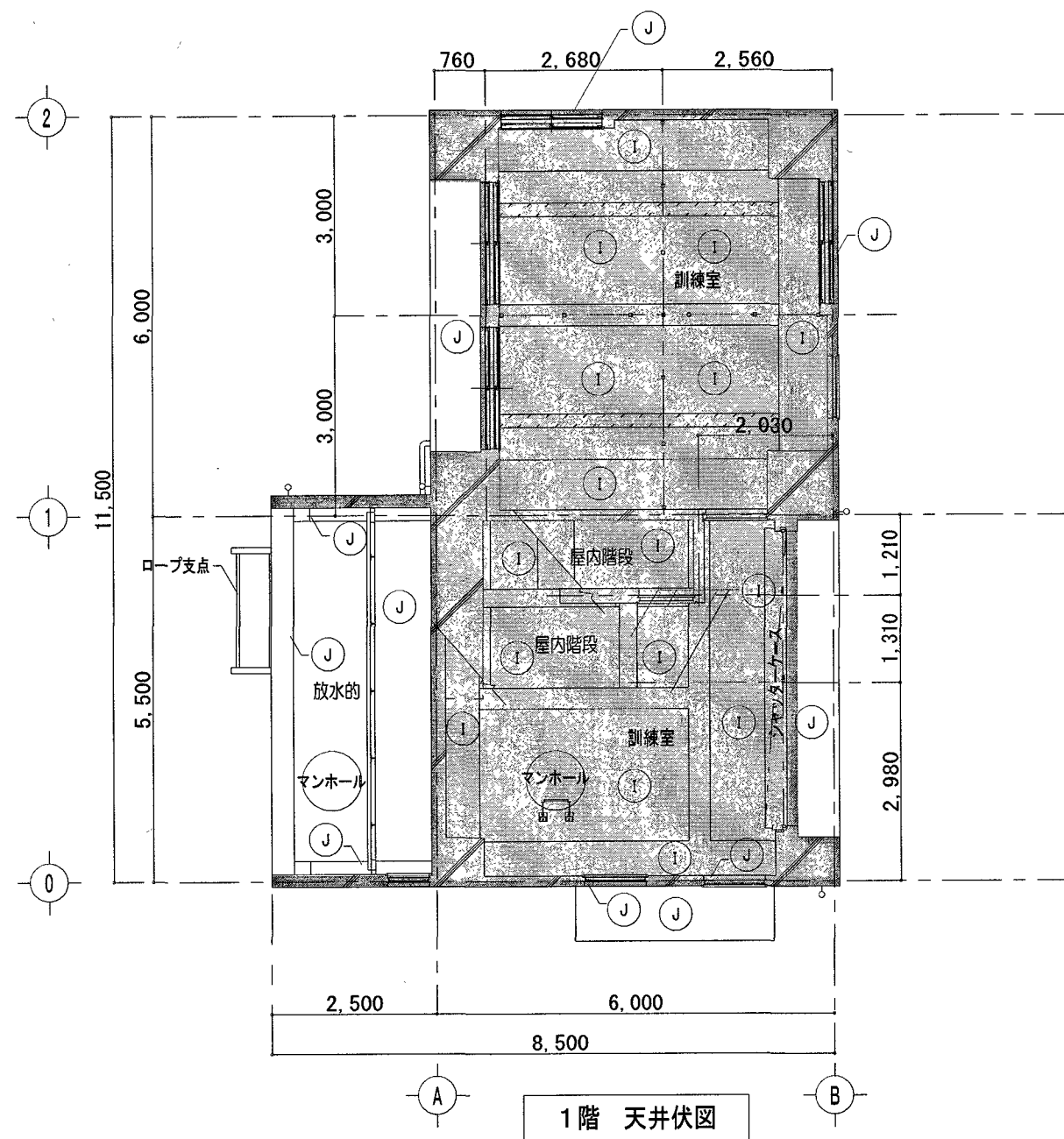


断面図 2

断面図 1

【 参考図 】

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事						A-08
				図面名	訓練塔 断面図【参考図】	縮尺	1/100	作図	R8年 7月 日	

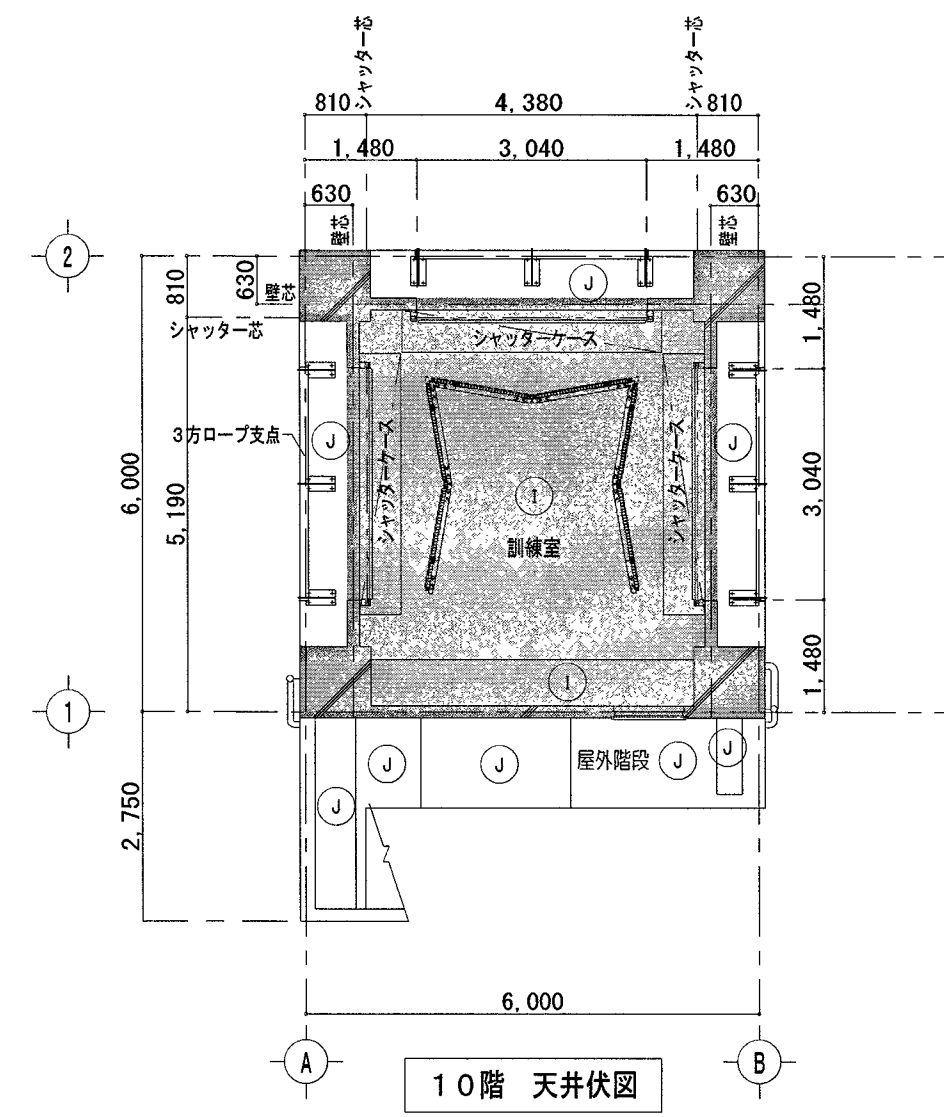
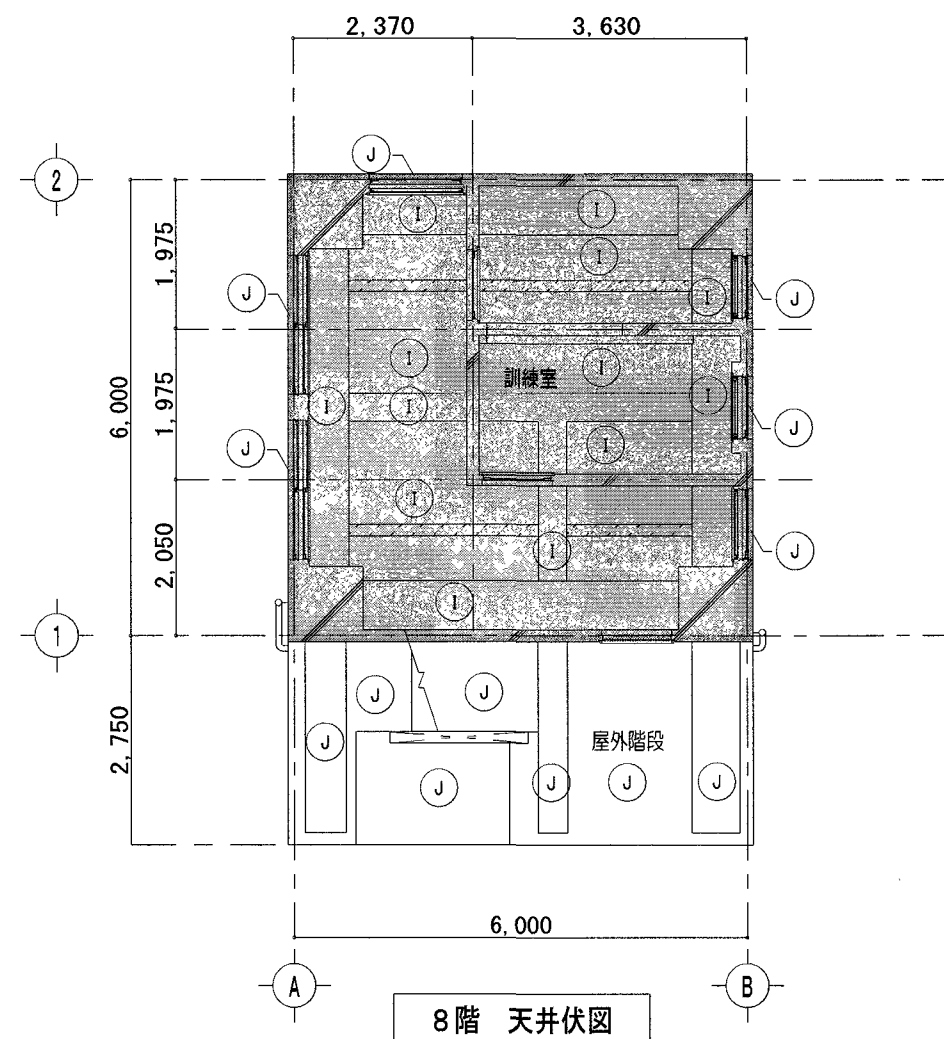
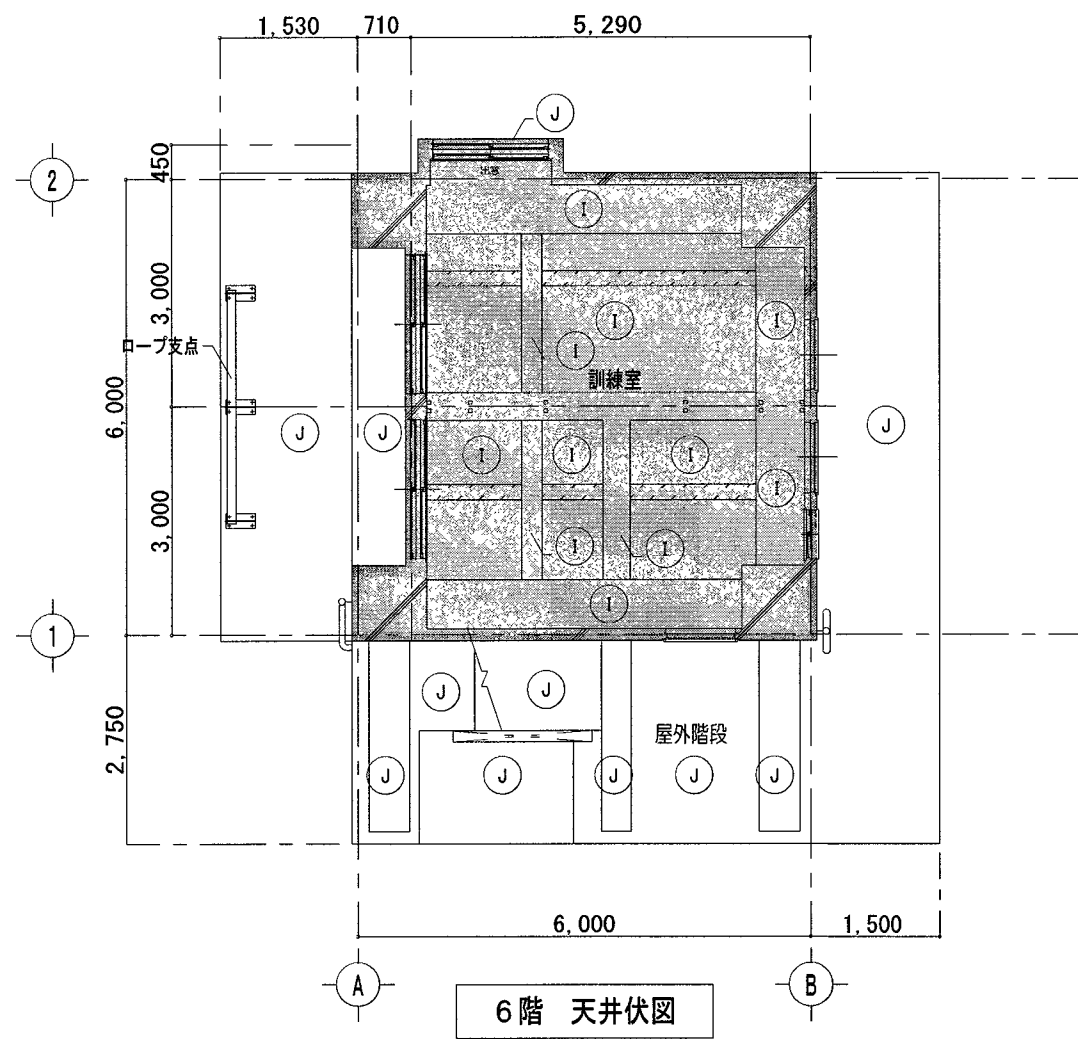
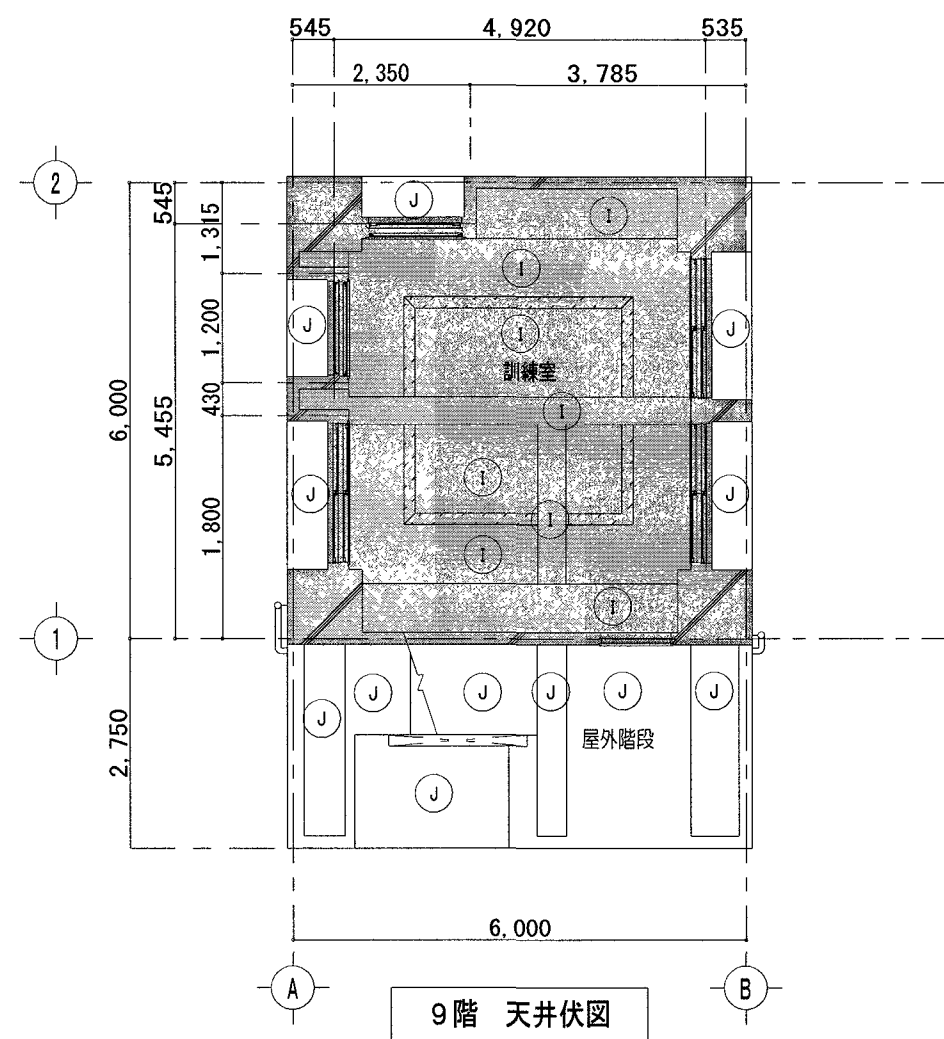
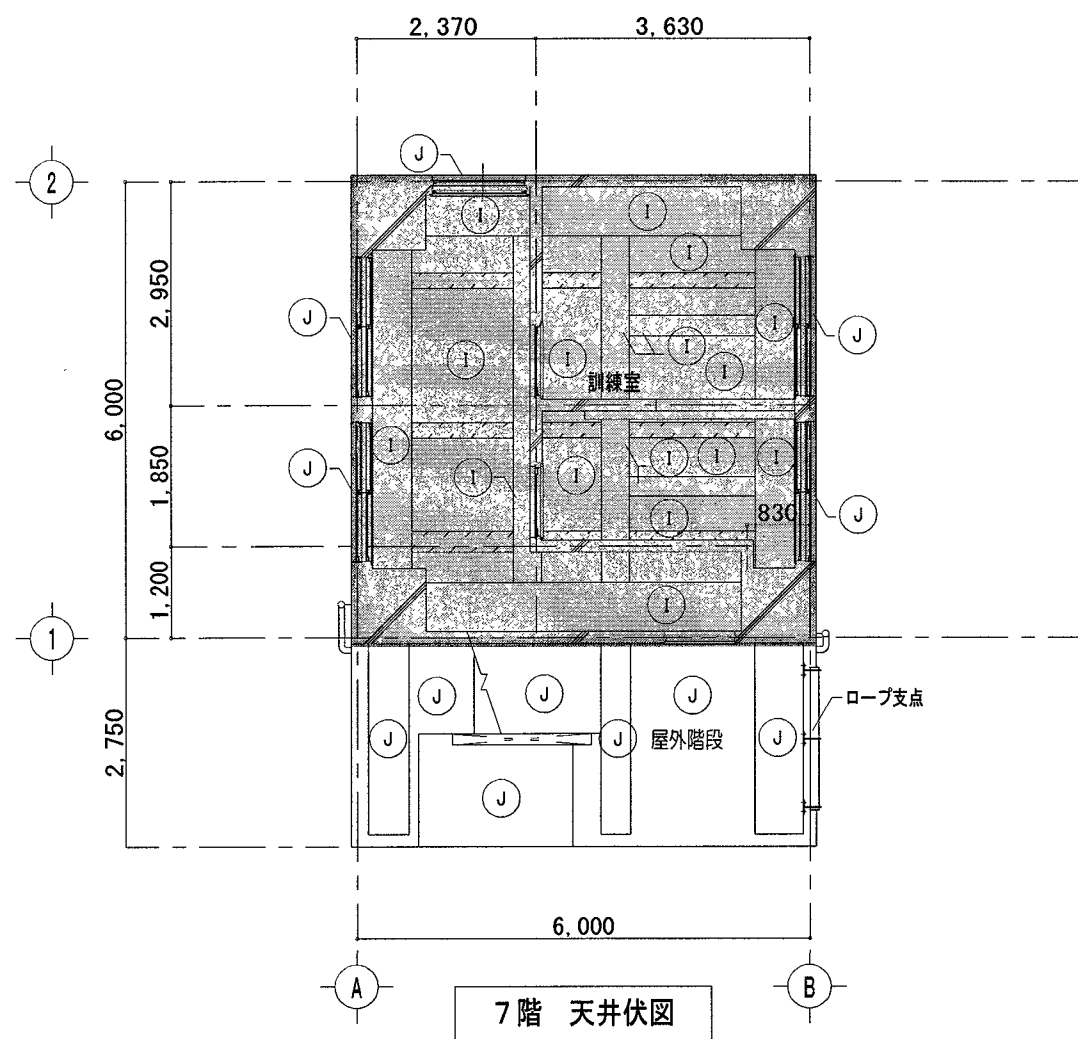


天井内外部仕上記号表

記号	材 名
①	合板型枠A種打放しのまま
②	合板型枠A種打放し 漆水材吹付
③	現場発泡硬質ウレタンフォーム20t吹付

【 改修内容 】
 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(15×10) 二重水切り部共、撤去・新設とする。
 目地シーリング MS-2 打継 (20×10)、化粧 (15×15) 撤去・新設とする。

※【改修内容】以外は既存のままとする。 ※ は施工数量調査及び改修範囲対象外を示す。



【 改修内容 】
 数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。
 外壁面既存サッシ廻りシーリング* MS-2(15×10)二重水切り部共、撤去・新設とする。
 目地シーリング* MS-2 打継(20×10)、化粧(15×15)撤去・新設とする。

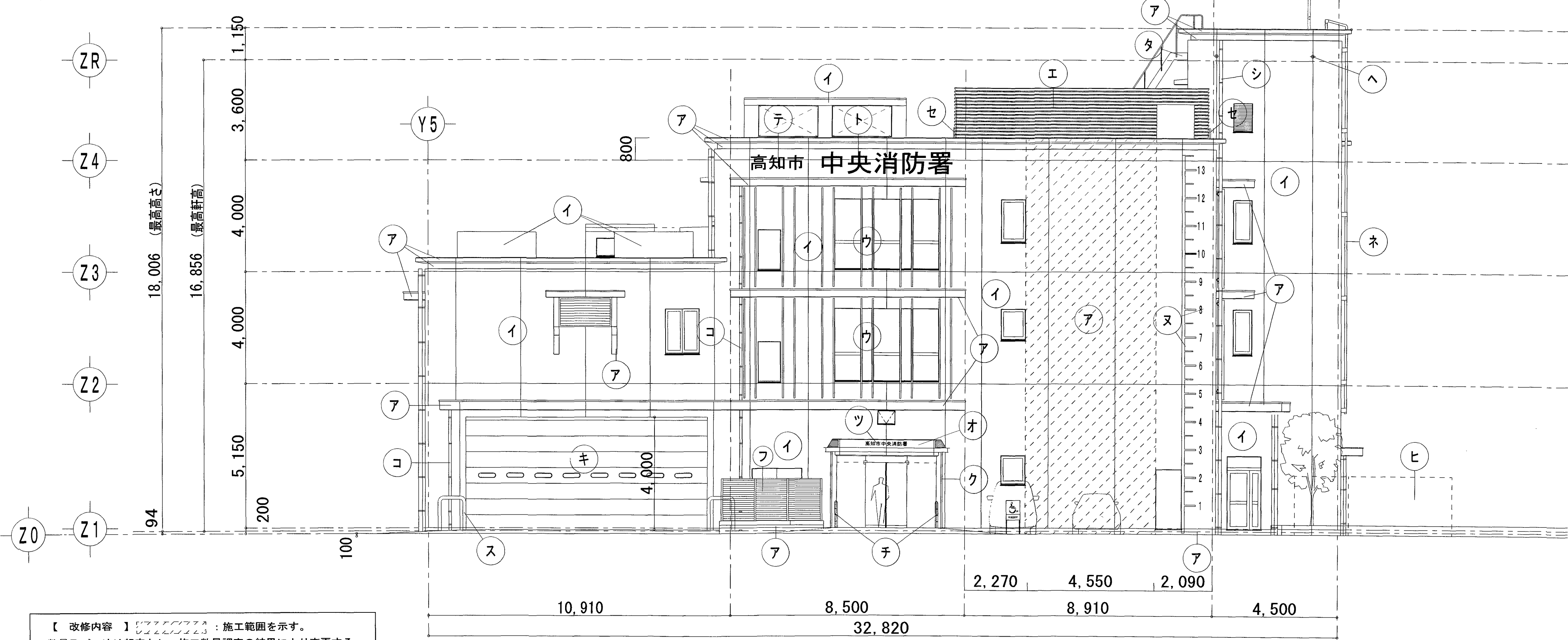
※【改修内容】以外は既存のままとする。 ※ は施工数量調査及び改修範囲対象外を示す。

高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事	和	田	市	山	A-10
				図面名 訓練塔 6～10階 天井伏図	縮尺	1/100	作図	R8年 7月 日	

外部仕上り記号表

各立面共通) 耐震スリット以外の目地は原則として、打継目地(水平)は20*15、化粧目地(垂直)15*15

記号	材名	記号	材名	記号	材名	記号	材名
ア	合板型枠A種打放し 澆水吹付	カ	SUS消子支持金物	サ		タ	St 設備用階段 溶融亜鉛メッキのまま
イ	合板型枠B種打放し 高性能防水形複層塗材	キ	AL+FRPオーバードア 小窓付(手動)	シ	縦樋カラーVP125φ SUS掘込み金物	チ	SUSコーナーガード H=900
ウ	ALルーバー(W=240)既製品 2-FUE焼付塗装 SUS固定金物	ク	縦樋SUS50□ 背面支持	ス	St 溶融亜鉛メッキガードパイプ H=1.2m	ツ	SUS切文字(脚付)175*175 2-FUE焼付塗装
エ	AL目隠しルーバー既製品 2-FUE焼付塗装	ケ	縦樋カラーVP65φ SUS掘込み金物	セ	St 溶融亜鉛メッキ手摺 H=0.55m	テ	SUS切文字(脚付)600~700□ 2-FUE焼付塗装
オ	ALパネル3tスタッドボルト シール内蔵納り 2-FUE焼付塗装	コ	縦樋カラーVP75φ SUS掘込み金物	ソ	St 溶融亜鉛メッキ手摺 H=0.15m	ト	SUS切文字(脚付)900~1,000□ 2-FUE焼付塗装
記号	材名	記号	材名				
ナ	SUSポスターケース 1,800*1,140*250	ハ	St 溶融亜鉛メッキ柱+腕+出動表示板				
ニ	AL国旗掲揚ポール アルマイト(※国旗1,500*1,000想定)	ヒ	AL二輪置き(既製品) 電解着色				
ヌ	高さ表示 エポキシ樹脂塗装	フ	目隠しフェンス H=1,500 AL押出型材+木粉入りABS樹脂				
ネ	SUS懸垂幕金物	ヘ	SUSオーバーフローパイプ60.5φ(26ヶ所)				
ノ	St 溶融亜鉛メッキ+SUS ホースリフター装置一式 10本*2用	○					



西立面図

【改修内容】: 施工範囲を示す。
数量及び工法は想定とし、施工数量調査の結果により変更する。

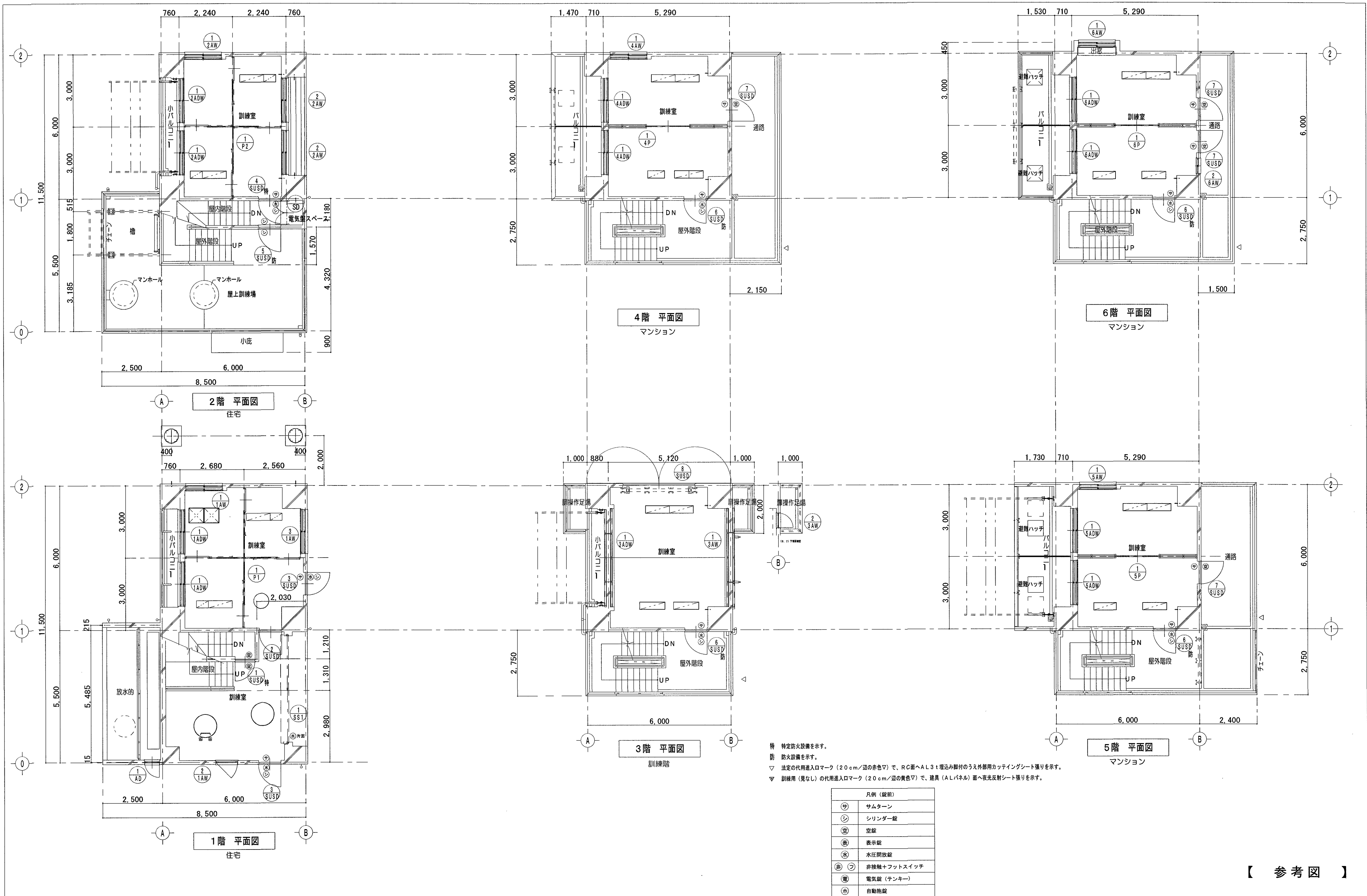
【外壁改修】

外壁改修【コンクリート打放し仕上げ】			合計
ひび割れ(0.2以上~1.0mm未満)	自動式低圧球状樹脂注入工法		1.00 m
ひび割れ(1.0mm以上)	ウレタン材充填工法		m
欠損	充填工法(球状樹脂注入)		m ²
型枠締付金物コンクリート処理部	既存コンクリート除去、既製穴埋設新設 防錆処理共		64.4 m ²

※【改修内容】以外は既存のままとする。

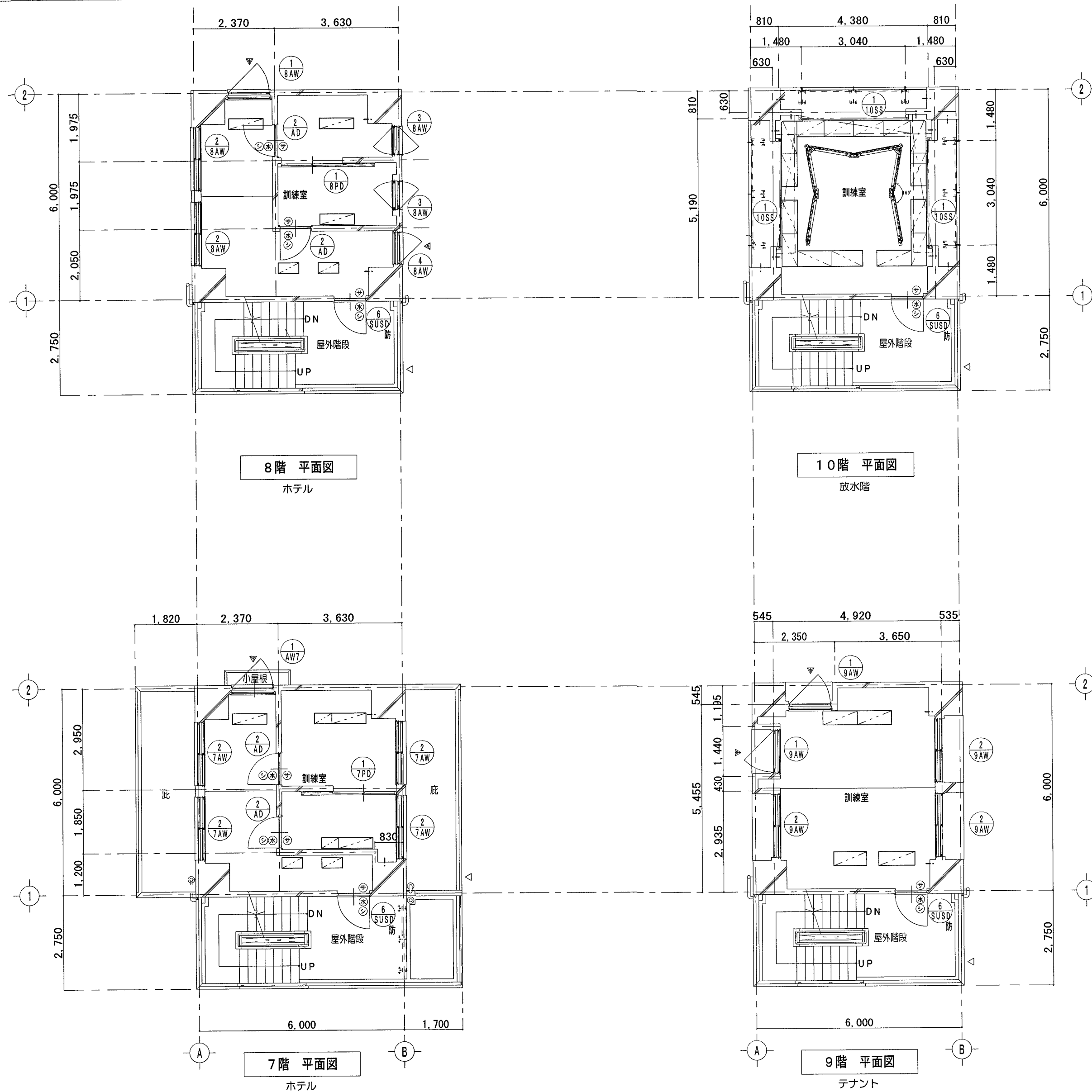
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事		和	田	市	野	山
図面名	庁舎棟 西立面図	縮尺	1/100	作図	R8年 7月 日	A-11



【 参考図 】

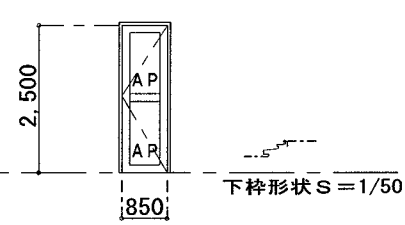
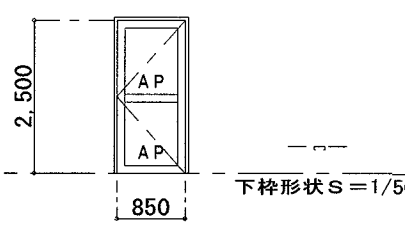
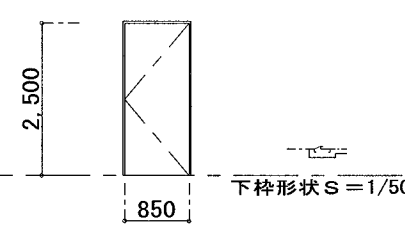
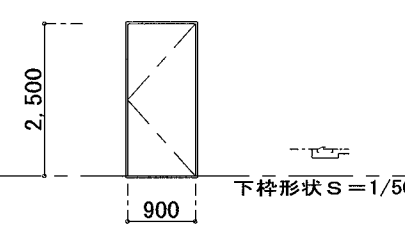
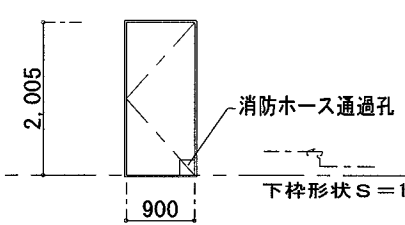
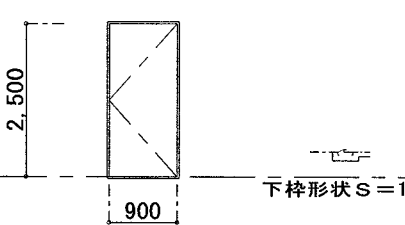
高知市 都市建設部 公共建築課				工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事					A-12
				図面名 訓練塔 1階～5階 建具配置図	縮尺	1/100	作図	R8年 7月 日	

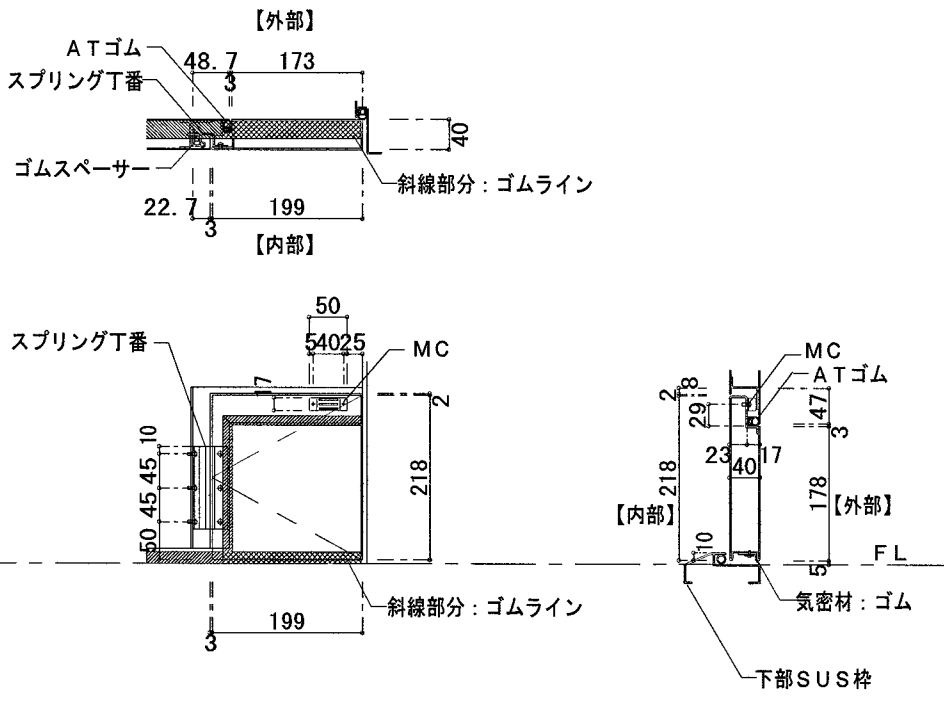
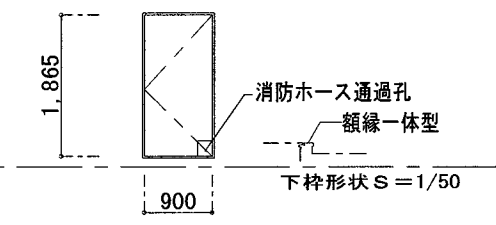
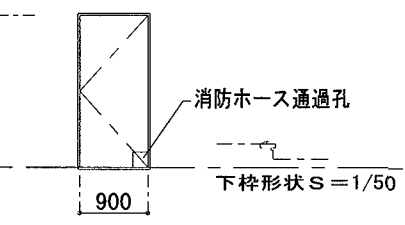
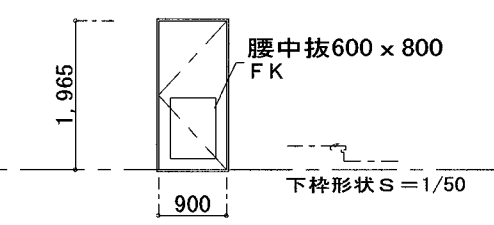
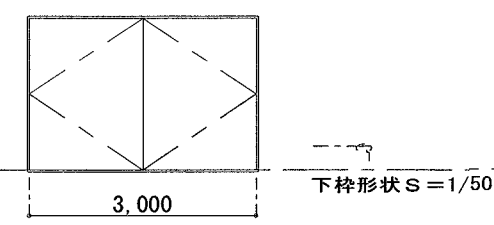


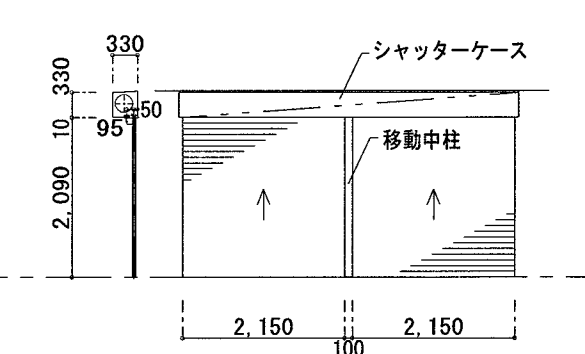
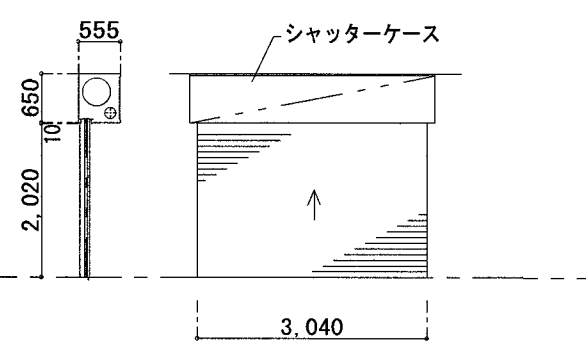
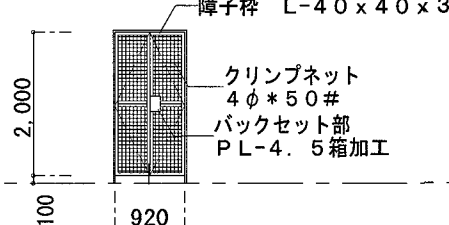
【 参考図 】

				高知市 都市建設部 公共建築課				工事名				係	係長	課長補佐	課長	図面番号
								高知市中央消防署訓練塔ほか外壁改修工事								A-13
								図面名	訓練塔 7階～10階 建具配置図	縮尺	1/100	作図	R8年	7月	日	

[illegible]

形状寸法	記号	1 AD	1階 放水	2 AD	7、8階 訓練室	1 SUSD 特	1階 階段室	2 SUSD	1階 訓練室	3 SUSD	1階 訓練室	4 SUSD 特	2階 階段室
													
	材 種	アルミ片開き框ドア		アルミ片開き框ドア		ステンレス片開きフラッシュドア（特定防火設備 常時閉鎖）		ステンレス片開きフラッシュドア		ステンレス片開きフラッシュドア		ステンレス片開きフラッシュドア（特定防火設備 常時閉鎖）	
	硝子	AP		AP									
	塗装												
	箇 数	1		4		1		1		2		1	
	金 物	ST、DC、RLH、AGK、他付属金物一式		ST、DC、RLH、AGK、内：サムターン 外：R+水圧解錠 他付属金物一式		ST、DC、LH、内外：空錠、他付属金物一式		ST、DC、RLH、他付属金物一式		ST、DC、RLH、SAT、内：サムターン 外：R+水圧解錠 他付属金物一式		ST、DC、RLH、内：サムターン 外：R+水圧解錠 他付属金物一式	
	備 考	SUS下枠+2J、片側AL3方、下辺SUS額縁（見込65）		SUS番摺、片側AL3方額縁（見込35）						SUS下枠 消防ホース通過孔：遮煙・枠無（ジョー・プリンス竹下鋼同等品以上）			

形状寸法	記号	5 SUSD ^防	2階 階段室	6 SUSD ^防	3～10階 訓練室	7 SUSD	4、5、6階 訓練室	8 SUSD	3階 訓練室	 消防ホース通過孔詳細図 S=1/10 消防ホース通過孔：遮煙・枠無し仕様		
												
	材 種	ステンレス片開きフラッシュドア（防火設備 常時閉鎖）		ステンレス片開きフラッシュドア（防火設備 常時閉鎖）		ステンレス片開きフラッシュドア		ステンレス両開きフラッシュドア				
	硝子					腰部：FK6t						
	塗装											
	箇 数	1		8		4		1				
	金 物	ST、DC、RLH、SAT、内・外：R 他付属金物一式		ST、DC、RLH、SAT、内：サムターン 外：R+水圧解錠 他付属金物一式		ST、DC、RLH、SAT、内：サムターン 外：空錠、他付属金物一式		180°開き隠しT番、FO、RGH、DG（偏り止付き）、他付属金物一式				
	備 考							内部側SUS オリング（両障子）、RGHのハンドルは内部側のみ				
	記号	1 ISS	1階 訓練室	1 ISS	10階 訓練室			1 SD	2階 階段室（分電盤前）	金属製建具及び木製建具の硝子に関する凡例及び注記		

形状寸法							・硝子記号 FL-フロート板硝子、F-型板硝子、PW-網入透明硝子、FW-網入型硝子、G-熱線吸収硝子（グリーンペン）、S-摺り硝子、ST-学校向け透明強化硝子、K-透明強化硝子、K型-型板強化硝子、TK-耐熱強化硝子 ・本工事で用いる特記無き硝子は、屋外に面する建具：（□複層硝子 □複層Low-E硝子 □単層硝子 ■単層ALハネル）、屋内に面する建具：（□単層硝子 ■単層FK □複層硝子）とする。 ・特記無き複層硝子の外部側の硝子は（□普通硝子 □強化硝子）とし、内部側の硝子は（□普通硝子 □強化硝子）とする。 ・特記無き複層硝子の空気層Aは（□6t □12t）とする。 ・複層硝子の空気層は（□アルゴン □クリプトン）ガス封入とし、（北面：断熱型 他の3面：遮熱型）とする。 ・複層硝子の特記有る建具（O t + O A + O t ※厚は外部側から順に表示）には、適合する硝子清拭を持つ枠見込及び障子見込のものを用いる。 ・施工に先立ち外部に面する全ての硝子の強度を国土交通省告示により計算し、その結果と図で特記する仕様とを比較確認すること。部材の一部でも許容数値が不足する場合は、当該硝子に関して告示で計算した硝子厚を用いる。 ・特記無き強化硝子に関しては、4 t ≤ 2.0 m × 1.2 m、5 t ≤ 2.4 m × 1.8 mの部分は学校用強化硝子を用いることができる。 ・延焼の恐れのある部分以外の範囲に用いるガラスルーバー窓のプレートワイヤー硝子は縦線入とする。 ・防火設備に関して、延焼の恐れのある部分の硝子押え、パネル押え等を使用するシールは防火シールとする。また、特定防火設備の同部分に使用するシールは建具本体と一体の大径認定品とする。 ・防火設備に耐熱強化硝子を用いる場合は、当該建具と別に硝子にもその旨を示す表示（シール）を貼ること。 ・硝子面に衝突防止用のカッティングシートが表示されている場合は、金属製建具工事・硝子工事から除く（サイン工事）。外部に面する建具の硝子にカッティングシートを張る場合は内部側へ張ること。					
	材 種	スチール軽量手動スプリングシャッター（正巻き）		スチール手動重量シャッター（手動：SUSチェーン式）		スチールアングル枠クリンブネット両開きドア						
	硝子											
	塗装	2-FUE		2-FUE		2-FUE						
	箇 数	1		3		1						
	金 物	スラット、SUS座板、SUSガイドレール、他付属金物一式		スラット、SUS座板、SUSガイドレール、他付属金物一式		ST、落し棒、RLH、他付属金物一式						
	備 考	ハンガーローラー、移動中柱、中柱収納ケース、水圧解錠装置（片側）		収納ケース								

【 参考図 】